

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 木屋瀬 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語、数学、英語）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学、英語）

教科に関する調査（国語、数学、英語）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、英語）の結果

本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	10.3	69	7.3	49	6.8	40
全国	10.5	70	7.6	51	7.7	45

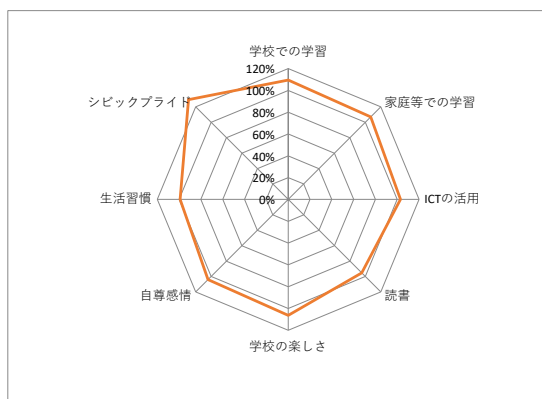
#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国・県平均どちらとも下回っている。特に情報の扱い方に関する事項に対する力が弱い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	我が国の言語文化に関する事項、話すこと、聞くこと	
	努力が必要な問題	情報の扱い方に関する事項	

数学	全体的な傾向や特徴など	全体的に全国平均も県平均も下回っている。特に各領域の思考・判断・表現に関する事項に対する力が弱い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	数と式の問題	
	努力が必要な問題	記述式、思考・判断・表現に関する問題	

英語	全体的な傾向や特徴など	「聞くこと」の問題を得意とする生徒が多いが、「書くこと」においては、知識・技能が身につけていない生徒が多いので、解けていない。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	「聞くこと」1(2)、1(3)：知識・技能 「読むこと」5(1)、7(1)(2)：知識・技能 「書くこと」8(2)：思考・判断・表現	
	努力が必要な問題	「読むこと」8(1)：思考・判断・表現 「書くこと」9(1)①：知識・技能	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の決まりを守ったり、いじめはどんな理由があってもいけないと考えたりなど、規範意識の高い生徒が多い。</li> <li>・地域行事等に積極的に参加する生徒の割合が全国平均より多い。</li> <li>・人の役に立つ人間になりたいと思う生徒が多い。</li> <li>・「自分には、よいところがあると思いますか」について肯定的な回答をする生徒の割合が全国平均よりも多い。</li> </ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

- 生徒につけたい力を明確にした授業づくりと補充学習による基礎学力の定着に努める。
- 放課後の補充学習や、宿題プリントを中心とした家庭学習、課題の提出を徹底する取組を継続する。
- 説明文や長文問題、資料を活用する問題に慣れさせ、読解力や分析力を身に付ける授業に取り組む。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

- 食育指導等を通して、食の大切さ、特に充実した学校生活を送る上での「朝食の重要性」について啓発する。
- 学年が上がるとともに、時間、内容ともに効果的な家庭での自主学習習慣を身に付けさせる。
- 学校通信、学年通信、学級通信、集会等で基本的な生活習慣や家庭学習の意義、取組について理解を図る。